

令和5年度 施政方針と当初予算

問 行政課財政係 ☎95-9869

令和5年度の予算総額は644億9,438万円です。この内、一般会計は334億8,703万円です。これから1年間のお金の使い道と、どのような事業に取り組んでいくのかをお知らせします（端数処理の関係で合計が一致しない場合があります）。

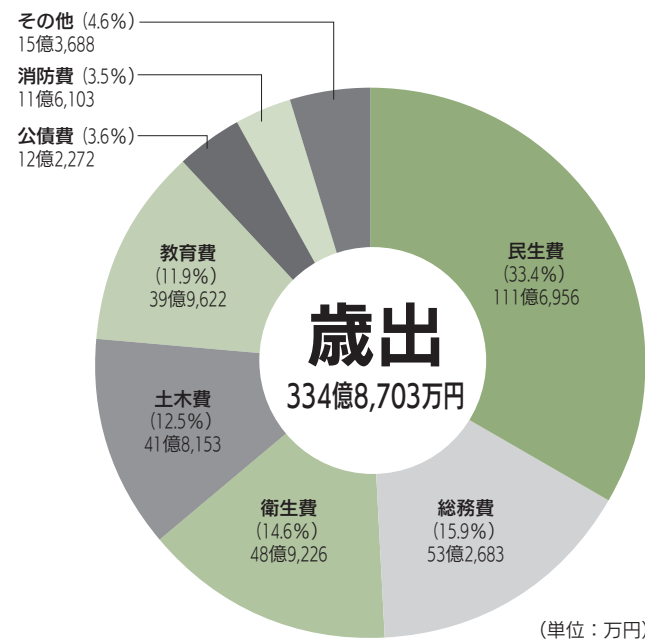
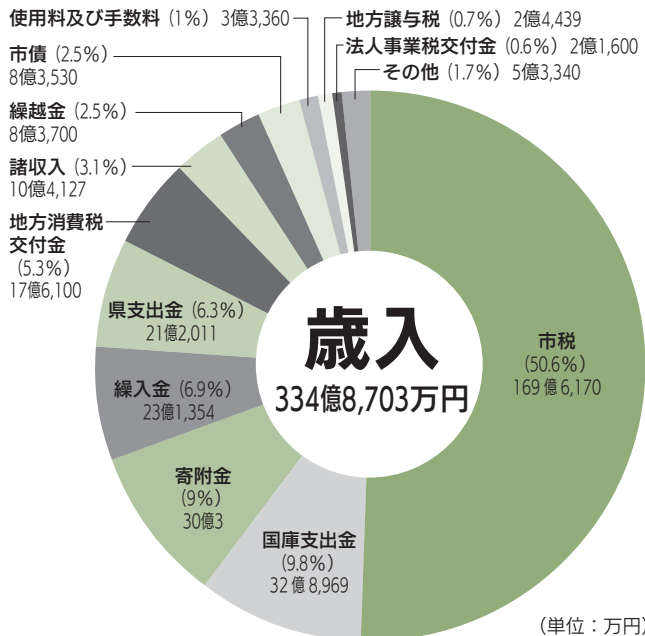
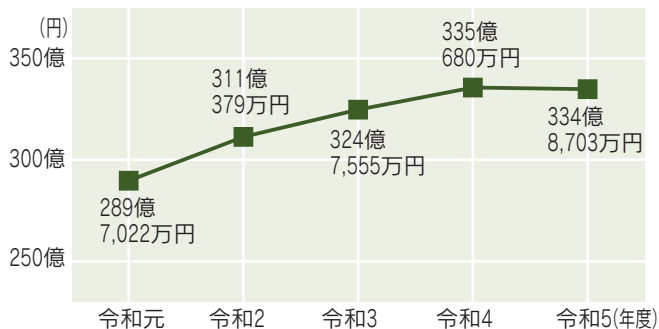
税目別予算

税目	予算額	前年度比
市民税	61億6,100万円	0.7%
固定資産税	89億5,260万円	△0.3%
軽自動車税	2億2,050万円	3.8%
市たばこ税	4億6,500万円	△1.3%
都市計画税	11億6,260万円	1.3%

会計別予算

会計	予算額	前年度比
一般会計	334億8,703万円	△0.1%
特別会計	135億5,759万円	△1.4%
国民健康保険	66億6,828万円	△4.3%
訪問看護事業	1億3,392万円	47.6%
介護保険	57億 182万円	1.3%
保険事業勘定	56億3,048万円	1.3%
介護サービス事業勘定	7,134万円	△1.3%
後期高齢者医療保険	10億5,356万円	△0.7%
企業会計	174億4,977万円	△5.5%
水道事業	22億4,540万円	△15.1%
下水道事業	56億2,575万円	△12.4%
病院事業	95億7,862万円	1.9%
総合計	644億9,438万円	△1.9%

一般会計の推移



新型コロナウイルス感染症の影響による経済状況の悪化から緩やかな回復が続く一方で、半導体不足や物価高騰の影響などのマイナス要因の増加により日本経済の低迷が続いています。

このような状況の中、第6次碧南市総合計画に掲げるまちづくりの将来像「新たな力とともに創る 笑顔と元気のみなとまち へきなん」の実現を目指し、「貯蓄から投資」の流れを加速させるための企業に向けた支援の強化や、スポーツ振興基金への積立、老朽化の進む施設の長寿命化事業などを実施する予定です。

先行きが不透明な経済状況において、将来への投資的事業を中心とした行財政運営を行っていくことで、景気回復の後押しとなることを期待するものであります。